

漫湖水鳥・湿地センター

# たよひ

2007年2月10日発行

No.43



## KODOMOラムサール 九州・沖縄ブロック湿地交流



ムービー作りで始まったKODOMOラムサール九州・沖縄ブロック湿地交流が1月27日(土)28日(日)漫湖水鳥・湿地センターで行われた。

1日目、12時頃から受け付けが始まり、九州・県外からの子どもたちが到着する。

センター前の芝生会場では、すでにムービー作りが始まっており、シンメナービから、カーサの香りがぷう〜んと。県外の子供たちにとっては、おそらく初めての体験であろう。

子どもたちは、8つのグループに分かれ、(グループ名は、シーサー、ゴーヤ、トントンミー、ガチマヤ(食いしん坊)等々)ムービー作りに挑戦した。

その後、会場を研修室へ移動。いよいよメインの各地からの湿地についての子どもたちの活動報告があり、会場は熱気でむんむん。次々にスクリーンに映し出される各地域の子どもたちの熱心な取り組みは、特に地元沖縄の子供たちにとっては、大きな収穫であり、いい刺激になったと思う。

夕食は、ウチナー料理とエイサーでみなさんを歓迎、特に県外の子供たちには、那覇太鼓のみなさんが手ほどきをし、交流会は大いに盛り上がった。

2日目の午前には野外観察で、漫湖の自然を楽しんだ。観察は、野鳥班、マングローブ班に分かれて行った。その日は、2日おくれのムービーピーサーで、この冬

一番の寒さであった。

いよいよ午後は、本大会のフィナーレ、子どもたちが湿地を体で感じた事を生の声でアピールする宣言文作りである。

子どもたちの目が一段と輝き、講師の中村先生(滋賀県)にも熱が入る。

ついに、メッセージが決まった。

『命どう宝 湿地どう宝

宝を守り続ける事 それが僕らの夢』

午後2時、子どもたちは、2日間の全日程を終え、各地へ散会していった。

その後姿には、一回り成長したような感じがしたのは私だけではなかったようだ。

最後に、この事業に関わった各関係機関、活動を報告された学校、ご協力くださった漫湖自然環境保全連絡協議会、ボランティアをされた地域の先生方、お母さん、学生のみなさん、コカ・コーラ様、島袋先生、知念様、金城様、上原菓子店様、那覇太鼓、とよみ小学校、谷津干潟自然観察センターの松濱様に心よりお礼申し上げます。

子どもたちの笑顔と交流の輪の広がり、感動のうちにKODOMOラムサール九州・沖縄ブロック湿地交流を無事終わられたことに感謝申し上げます。(広川)



# 1月27日(1日目)

## ムーチー体験

まずは、みんなでムーチー体験!!  
上原菓子店の上原さんに教えてもらい、サンニンの葉で餅を包みました。

ムーチーボランティアさん達の指導で、子どもたちはどんどん作っていきました。

はじめて会った友達とも、楽しく作業ができました。



## 交流会第1部

交流会では、各学校より湿地や活動の発表がありました。同じラムサール条約登録湿地でもそれぞれ環境が違うこと、たくさんの子どもたちが積極的にいろいろな活動をしていることが分かり、日々の活動への刺激を受けました。

# 1月28日(2日目)

## 野外観察

2日目は、漫湖周辺の野外観察を行いました、まずは、豊見城城址(閉園中のため普段は入れません)から漫湖を眺めました。そして、三角池で野鳥観察、漫湖のマングローブ散策、漫湖の自然を満喫しました。



夜は、エイサー体験!!

マングローブ散策は、高良海舟君が案内してくれたよ。

三角池は、小禄健人くんが案内してくれたよ。

## 交流会第2部

1日目の発表を受けて、みんなで世界へ発信していくメッセージを考えました。

活発な議論の末、メッセージが完成し、みんなで読み上げました。



最後に寄せ書きにみんなの名前を書いて、メッセージに想いを込めたよ。

ちむ

命どう宝 湿地どう宝

宝を守り続ける事 それが僕らの夢



# 漫湖水鳥かわら版 43

～ 1月 冬模様の漫湖 ～

1月	羽数	先月との比較
ダイサギ	7	
チュウサギ	2	
コサギ	4	
アオサギ	17	
クロツラヘラサギ	2	
オナガガモ	24	
ミサゴ	3	
ハヤブサ	1	
バン	2	
シロチドリ	16	
ムナグロ	92	
ダイゼン	32	
トウネン	5	
ヒバリシギ	1	
ハマシギ	9	
アカアシシギ	20	
アオアシシギ	60	
キアシシギ	1	
イソシギ	16	
オオソリハシシギ	1	
ダイシャクシギ	11	
チュウシャクシギ	8	
タシギ	1	
ユリカモメ	2	
ズグロカモメ	3	
カワセミ	1	
ハクセキレイ	6	
合計	347	

1月13日 オオソリハシシギ

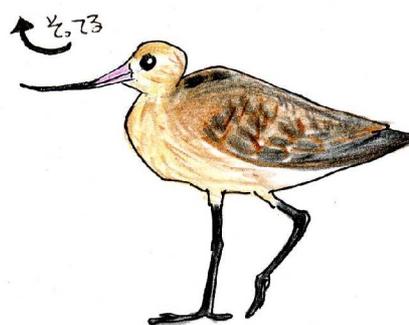
センターの2階から望遠鏡をのぞいていました。いつものように、ダイシャクシギを何羽か確認できました。

その中で、「あれ、くちばしがぁ。。。」

長いくちばしが、ダイシャクシギとは逆方向、少し上にそっているオオソリハシシギを発見しました。これは、ちょっと感動。

図鑑で、調べてみるとオオソリハシシギは特にゴカイを好んで食べると書いてありました。ダイシャクシギは、巣穴からカニを取り出すのがとっても上手!!

そんな、くちばしの曲がり具合が、そういった習性にも反映されているかと思うと、さらに感動ですね。

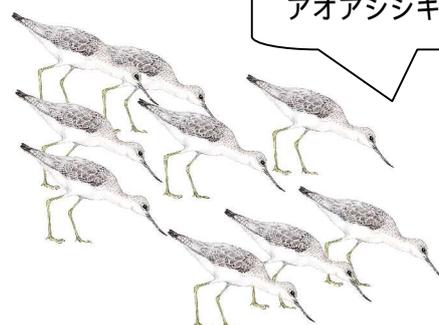


1月31日 アオアシシギ

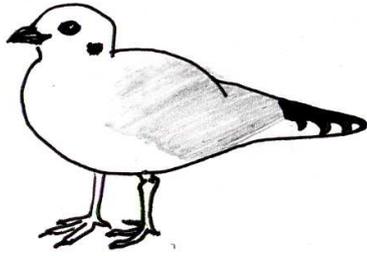
センターの大型画面に映し出されたのは、水際に並ぶアオアシシギたち。みんな同じ方向を向いて、集まっています。

くちばしを羽の中に入れて休んでいるもの、一本足でピョンピョン飛び跳ねているもの、思い思いにすごしているようです。

そして、大型カメラを動かしながら数を数えてみると、60羽のアオアシシギがいました。



アオアシシギたくさん!!



## ＊ ＊ 行事のお知らせ ＊ ＊

### 春の野鳥観察会

双眼鏡を持って、漫湖へ出発!!野鳥観察をしましょう!!  
双眼鏡や、望遠鏡、図鑑はセンターで無料でお貸しします。野鳥観察を体験するチャンスです。どうぞ、ご参加ください。

日時：3月11日(日) 13時～15時  
場所：漫湖水鳥・湿地センター周辺  
対象：小学1年生以上  
費用：保険料100円  
持ち物：筆記用具  
講師：比嘉邦昭先生(沖縄野鳥研究会)  
予約：要予約(先着順)

### 団体利用

1月	
小学校	
とよみ幼稚園	豊見城市
報恩幼稚園	那覇市
高等学校	
美里高等学校	沖縄市
その他	
美里自治公民館	沖縄市
日本生命社員研修	その他

♪♪ ようこそ ♪♪

## 漫湖水鳥・湿地センターへ

総入館者数  
75,083名

1月の入館者数  
1,196名  
(うち団体 279名)



とよみ幼稚園生も、漫湖の自然を楽しみました!!



### ＊ ＊ ＊ 編集後記 ＊ ＊ ＊

KODOMOラムサール湿地交流、子どもたちの笑顔がはじけ、また真剣に議論する姿が印象に残るイベントでした。

たくさんの方の協力を得て、無事終わることができました。本当にありがとうございました。これから、参加した子どもたち、そして、その友達...と湿地の交流が広がっていくことと思います。



中井 聡子

< 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会(環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) >

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合・翌日) 年末年始(12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko\_mizudori@ybb.ne.jp

HP: [http:// www.geocities.jp/manko\\_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)